

Do CL Column

愉しむ、感謝する
—CL を実践し続ける生徒さん—

なかた かなえ



2017年8月8日

夏が楽しいです。

友達と夜の海で花火をしたり家で集まって話したり、カラオケに行って何時間も歌ったりします。仕事は正直、機敏に動くことを努力しなきゃと思うとしんどい時もあるけれど、暑さに負けない元気がグッと付いた気がします。楽しい事と辛い事、往復するうちにタフになって行く。本当にいつの間にこんなに私の中にパワーが溜まっていたんだろう。

そうすると周りの人が今までパワーの足りない私を助けてくれていた事実を知ります。今も、足りない部分は助けて貰っています。人だけじゃなく、物だってそう。うまく行かない時、物を大切にしなくても、物は私へ冷たく変化したりはしなかった。いつも花マルにサポートしてくれた。古くなって捨てた物も、「今まで世話してやって俺は偉かっただろ、感謝しろよ」なんて言わないで、色々な物達は黙って役目を終えてくれた。

大切にすることは、大切にされること。

大切にされることは、大切にすること。

どんな相手も私は大切にするに値する気がするのです。

役目を終えたお風呂へ

9月14日

去年、実家のお風呂はリフォームをした。

30年も使ったお風呂だった。本当はクリーム色のタイルにする予定だったらしいのだけれど、工事で手違いがあり真っ黄色のタイルのお風呂になってしまい、母は最初嫌だったという。私は産まれた日からずっと黄色で当たり前だったので、お風呂が黄色な事に関して何も考えていなかった。小さな頃は近所の子とまとめてお風呂に入れられて、はしゃいでいる写真やビデオを観たことがある。勿論家族でも入った。それは今思うと楽しい時間だった。時々姉妹でお風呂に入っている途中で大喧嘩したりして、母に大怒りされた事もある。高学年になると、三姉妹で曜日を決めた紙を貼って、決められた日にお風呂を洗うようになったけれど、段々早く入りたい私がランダムに洗う回数が増えていった気がする。泡をスポンジに泡立てると、ぬめる垢をゴシゴシと落とす。好きではないけれど、嫌いとも少し違う作業。夏は蒸し暑く、冬はヒシヒシと冷たい空間。夏には虫が出ると悲鳴を上げて大騒ぎした。

お風呂には肩も借りた。悲しい時は黙って泣かせてくれた。何もかも嫌になった声にならない怒りを浴槽を足で蹴飛ばしたりしてぶついたりした。お風呂は壊れないで受け止め支えてくれた。お風呂が壊れなかったから、私も本当には壊れなかった。春も過ぎて、夏も過ぎて、秋はやって来て、冬を越して、色々な私達を綺麗に清潔に保ってくれるお風呂だった。

そんなお風呂だったけれど、姉が姪っ子を妊娠中の去年、暖房が無いから寒いとか、ザラザラだとか、散々批評されてリフォームされる事になると、あっと言う間に取り壊された。新品のお風呂は暖房も付いていて、オシャレだなあ〜と感動していると、夢を見た。朝靄の中で静まり返った黄色のタイル

のあの風呂で私は立っていた。何も考えず、ただ立って居た。起きて歯を磨きながら、お風呂をみると、やはり新しいお風呂で、でも、黄色のタイルのあの風呂に、思わず「ありがとう」と呟いてみた。

夢でみた朝靄の中の黄色のタイルのあの風呂は、ちょっと怖いくらいに美しかった。


世界への自分の在り方

10月9日

いつもいつでも見守ってくれている人が居る事実には圧倒されます。自己中心な時にはそれが見えていないのですよね。どれだけワガママな感情が湧いても、人生をつまらなく感じた時も、世界は公平に事実としてそこにある。だから、目の前の事に注意を払って、丁寧にお返ししていくこと、(例えば丁寧に食材を刻んできちんと調味料の量を調節して、味わって頂いたあと、きちんとお皿を洗うとか)が生きる上で世界への自分の在り方を決めて行くのではないかと気付きました。素晴らしい人生にしたかったら、ソファに座って過去や未来に頭を巡らすのではなく、今冷蔵庫に入っているりんごを家族の為に剥いて、一緒に味わうことだと思ったのです。

おかげさまで、図書館の仕事は三年間の契約だったのですが、三年目以降もずっと働かせてもらえる事になりました。

(千葉県千葉市CLインストラクター/小木晴代：相談室^{ペタデイズ} h-ogis8docl@tbz.t-com.ne.jp)

 [目次へ戻る](#)